

令和元年8月2日

消費生活用製品の重大製品事故に係る公表について

消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づき報告のあった重大製品事故について、以下のとおり公表します。

○特記事項あり

ノートパソコン用バッテリーパック（「ノートパソコン」として公表）、電気こんろ、電動アシスト自転車、エアコンに関する事故（リコール対象製品）について
（詳細は次頁以降参照。）

1. ガス機器・石油機器に関する事故
該当案件なし
 2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、
製品起因が疑われる事故 5件
（うちノートパソコン1件、電気こんろ1件、電動アシスト自転車2件、
エアコン1件）
 3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、 11件
製品起因か否かが特定できていない事故
（うちタブレット端末1件、温水洗浄便座2件、
接続箱（太陽光発電システム用）1件、自転車1件、
電動アシスト自転車1件、電気冷蔵庫1件、IH調理器1件、
ベビーカー1件、水槽用エアープンプ1件、眼鏡フレーム1件）
 4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、消費者庁製品事故情報検討会及び
消費経済審議会製品安全部会製品事故判定第三者委員会において、審議を予定して
いる案件
該当案件なし
1. ～ 4. の詳細は別紙のとおりです。

5. 留意事項

これらは消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づく報告内容の概要であり、現時点において、調査等により事実関係が確認されたものではなく、事故原因等に関し、消費者庁として評価を行ったものではありません。

本公表内容については、速報段階のものであり、今後の追加情報、事故調査の進展等により、変更又は削除される可能性があります。

6. 特記事項

(1) パナソニック株式会社が製造したノートパソコン用バッテリーパック（「ノートパソコン」として公表）について（管理番号：A201900310）

① 事故事象について

店舗で、パナソニック株式会社（法人番号：5120001158218）が製造したノートパソコン及び周辺を焼損する火災が発生しました。

当該事故の原因は、現在、調査中ですが、ノートパソコンのバッテリーパックの製造上の不具合により、バッテリーセルが異常発熱し、火災に至ったものと考えられます。

② 再発防止策について

同社は、当該製品を含む対象製品（下記③）について、事故の再発防止を図るため、2017年（平成29年）12月6日にウェブサイトへの情報掲載、翌7日に新聞社告を行うとともに、販売店等への協力要請を行う等により、対象バッテリーパックをお持ちの方に対し、無償製品交換（改善対処したバッテリーパックとの交換）を実施しています。

③ 対象製品：バッテリーパック品番、ロット記号、製造期間、対象台数

バッテリーパック品番	ロット記号	製造期間	対象台数
CF-VZSU75JS	C2□□、C3□□、C4□□、C54□、C55□、C56□、C9J□、C9K□、C9L□、CB3□、CB4□、CB5□、D2□□、D33□、D34□、D3C□、E15□、E1H□、E2F□、E2G□、E2J□	2012年3月～2012年5月 2012年9月～2012年12月 2013年2月～2013年3月 2014年1月～2014年2月	142,019
CF-VZSU76JS	C2□□、C3□□、C4□□、C56□、C57□、C58□、C59□、CBX□、C9E□、C9F□、C9G□、C9H□、C9L□、C9N□、C9P□、C9V□、CA8□、CB9□、CBA□、CC3□、D34□、D35□、E1□□、E2E□、E2F□、E2J□		
CF-VZSU78JS	C2□□、C3□□、C4□□、C53□、C55□、C9V□、C9W□、E1□□		
CF-VZSU79JS	C2□□、C3□□、C56□、C9R□、C9S□、C9W□、E1□□		
CF-VZSU61AJS	DC6B、E2DB	2013年12月、2014年2月	

注1. ロット記号の□印には任意の英数字が入ります。

注2. 同社が販売したノートパソコン（CF-NX、CF-SX、CF-S10及びCF-N10シリーズ）の一部の機種に同梱したバッテリーパック及びオプション・サービス用に販売したバッテリーパックのうち、2012年2月から2014年2月までに製造されたもの。

2017年（平成29年）12月6日からリコール（無償製品交換）を実施
回収率：48.3%（2019年7月31日時点）

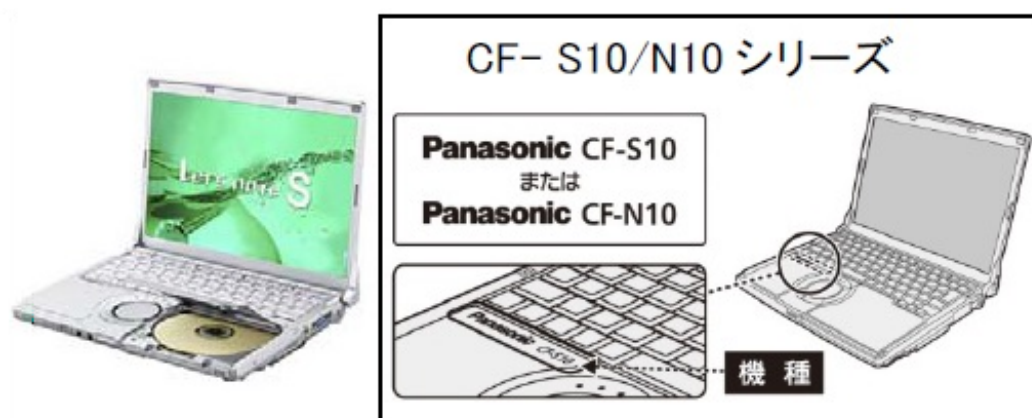
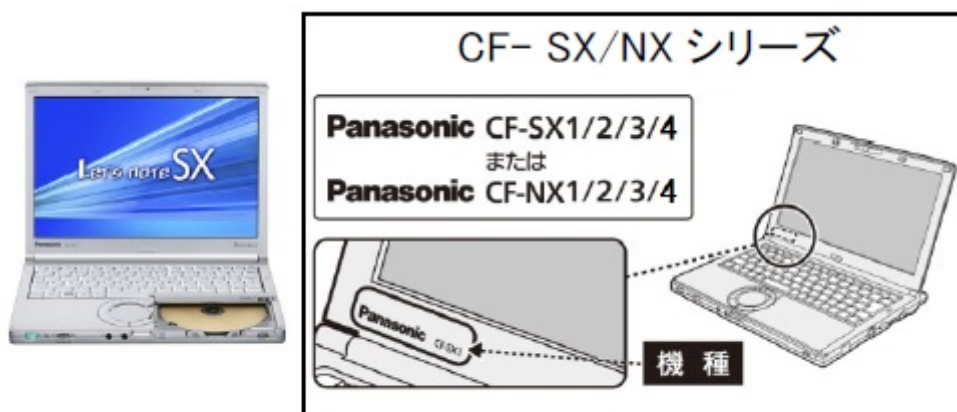
<リコール対象製品での事故件数>

当該事故（管理番号：A201900310）発生以前の、対象製品におけるリコール対象の内容による2010年度以降の事故（現在調査中を含む。）の件数は、次のとおりです。これらは、消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づき報告を受けたものです（いずれも「ノートパソコン」として公表しています。）。

年度	事故件数	被害状況	年度	事故件数	被害状況
2019年度	1	火災	2014年度	—	—
2018年度	0	—	2013年度	—	—
2017年度	7	火災	2012年度	—	—
2016年度	1	火災	2011年度	—	—
2015年度	2	火災	2010年度	—	—

<ノートパソコンの機種の確認方法>

ノートパソコンの機種は、本体の機種表示を御確認ください。



＜バッテリーパック品番とロット記号の確認方法＞

ノートパソコンの電源を切り、バッテリーパックを取り外してください。

バッテリーパック品番とロット記号は、バッテリーパックの銘板に表示されています。

CF-SX/NX シリーズ

品番 → Panasonic 品番 CF-VZSU76JS
バッテリーパック

(裏面)

ロット記号 → C25A 10500

品 番	CF-VZSU75JS	CF-VZSU76JS	CF-VZSU78JS	CF-VZSU79JS
ロット記号	C2■	C2■	C2■	C2■
	C3■	C3■	C3■	C3■
	C4■	C4■	C4■	C56■
	C54■	C56■	C53■	C9R■
	C55■	C57■	C55■	C9S■
	C56■	C58■	C9V■	C9W■
	C9J■	C59■	C9W■	E1■
	C9K■	CBX■	E1■	
	C9L■	C9E■		
	CB3■	C9F■		
	CB4■	C9G■		
	CB5■	C9H■		
	D2■	C9L■		
	D33■	C9N■		
	D34■	C9P■		
	D3C■	C9V■		
	E15■	CA8■		
	E1H■	CB9■		
	E2F■	CBA■		
	E2G■	CC3■		
	E2J■	D34■		
		D35■		
		E1■		
		E2E■		
		E2F■		
		E2J■		

4桁中の上位2桁から3桁

CF-S10/N10 シリーズ

品番 → Panasonic 品番 CF-VZSU61AJS
バッテリーパック

ロット記号 → DC6B E2DB

品 番	CF-VZSU61AJS
ロット記号	DC6B E2DB
4桁	

(注) ■印は任意の英数字が入ります

※同社ではノートパソコン用バッテリーパックについて、2014年5月28日付け、同年11月13日付け及び2016年1月28日付けで既にリコールを実施しておりますが、今回は対象製品が異なります。

前回のリコールにおいて対象外であった場合でも、再度、バッテリーパック品番及びロット記号を御確認ください（過去のリコール製品については下記ウェブサイトをご参照ください。）。

また、交換したバッテリーパックについて安全性を高めるために2018年（平成30年）3月28日にウェブサイトへの情報掲載を行うとともに、同年6月12日から対象製品をお持ちの方に対し、バッテリー診断・制御プログラムの提供を実施しています。

1) 2014年（平成26年）5月28日からリコール（同年11月13日から対象を拡大）

ウェブサイト：<http://askpc.panasonic.co.jp/info/141113.html>

2) 2016年（平成28年）1月28日からリコール

ウェブサイト：<http://askpc.panasonic.co.jp/info/160128.html>

3) 2018年（平成30年）3月28日からリコール

ウェブサイト：<http://askpc.panasonic.co.jp/info/180612.html>

④使用者への注意喚起

対象製品をお持ちの方は、直ちにノートパソコン本体からバッテリーパックを取り外していただき、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

【問合せ先】

パナソニック株式会社 バッテリーパック交換受付コールセンター

電話番号：0120(870)163

受付時間：9時～17時（土・日・祝日を除く。）

ウェブサイト：<http://askpc.panasonic.co.jp/info/171206.html>

※同ウェブサイトから無償製品交換の申込みも可能です。

(2) 松下電器産業株式会社（現 パナソニック株式会社）が製造し、株式会社日立ハウステック（現 株式会社ハウステック）が販売した電気こんろについて
（管理番号：A201900311）

※株式会社日立ハウステック製ミニキッチン「KM-903D」に組み込まれたもの

①事象について

松下電器産業株式会社（現 パナソニック株式会社（法人番号：5120001158218））が製造し、株式会社日立ハウステック（現 株式会社ハウステック）が販売した電気こんろの上に置かれていた可燃物を焼損する火災が発生しました。

当該事故の原因は、現在、調査中ですが、身体等が当該製品のつまみに触れてスイッチが入り、当該製品の上に置かれていた可燃物が燃えたものと考えられます。

②再発防止策について

ミニキッチン等に組み込まれた電気こんろで、スイッチ部のつまみが飛び出ている形状のものについては、身体や荷物が知らないうちにつまみに触れ、スイッチが入ってしまい、火災に至る事故が発生しています。

このため、同社を含む電気こんろメーカー及びキッチンユニットメーカー13社により「小形キッチンユニット用電気こんろ協議会」が設立され、2007年（平成19年）7月3日から新聞社告及び新聞折り込みチラシの配布を行うとともに、各地の消防局に協力要請を行う等、無償改修（スイッチ部のつまみにカバーを付ける）を実施しています（現在11社が継続実施。）。

③対象製品

対象製品の機種・型式、各事業者名、問合せ先等は、別添のとおりです。

【リコール実施状況】

2007年（平成19年）7月3日からリコール（無償改修）を実施。

対象台数、改修率

一口電気こんろ（今般事故の型式HK-1102を含む。）

改修対象台数 530,401台（全社合計）

改修率 96.7%（2019年6月30日時点）

上面操作一口電気こんろ

改修対象台数 60,969台（全社合計）

改修率 74.9%（2019年6月30日時点）

複数口電気こんろ

改修対象台数 147,700台（全社合計）

改修率 70.2%（2019年6月30日時点）

<リコール対象製品での事故件数>

当該事故（管理番号：A201900311）発生以前の、当該製品におけるリコール対象の内容による2010年度以降の事故（現在調査中を含む。）の件数は、次のとおりです。これらは、消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づき報告を受けたものです。

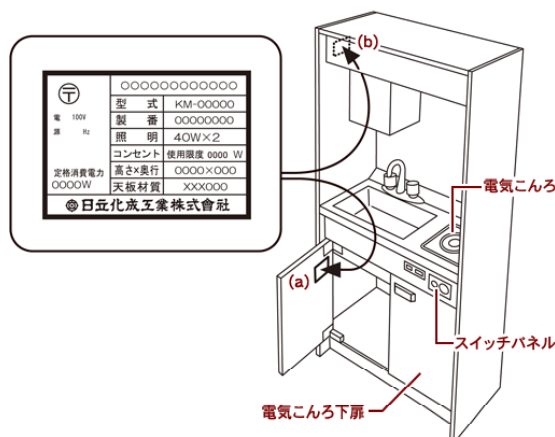
年度	事故件数	被害状況	年度	事故件数	被害状況
2019年度	2	火災	2014年度	3	火災
2018年度	2	火災	2013年度	1	火災
2017年度	2	火災	2012年度	4	火災
2016年度	2	火災	2011年度	5	火災
2015年度	2	火災	2010年度	2	火災

<対象製品の外観及び確認方法>

対象製品の外観（今般事故の型式HK-1102）



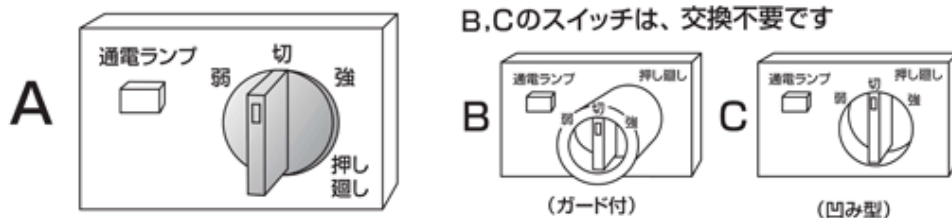
対象製品の確認方法：キッチンユニットの扉内側、上部壁又はスイッチパネルのつまみ部に表示している型式等を御確認ください。



スイッチ部の外観



スイッチ部のつまみを御確認ください。



B,Cのスイッチは、交換不要です

- 「メーカー名」及び「品番」については、扉の内側やスイッチなどを御確認ください。
- 「品番」が表示されていない場合は、「メーカー名」又は「スイッチ部の形状」を御確認の上、下記問合せ先まで御連絡ください。
- 改修対象の電気こんろは、スイッチ部のつまみが飛び出ているタイプになります。

④使用者への注意喚起

電気こんろの上や周辺に可燃物を置くことを避けていただくとともに、電気こんろのスイッチ部のつまみにカバーのない製品をお使いで、まだ当該つまみにカバーを付ける改修を受けていない方は、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

使用者の方々及び対象製品を設置するアパート等を所有又は管理されている方々におかれては、事業者が行う訪問改修に御協力いただくようお願いします。

【問合せ先】

パナソニック株式会社

電 話 番 号：0120（391）391

受 付 時 間：9時～17時（土・日・祝日を除く。）

ウェブサイト：

<https://panasonic.co.jp/ap/info/important/cooking/index.html>

小形キッチンユニット用電気こんろ協議会

電 話 番 号：0120（355）915

受 付 時 間：9時～17時（土・日・祝日を除く。）

ウェブサイト：<http://www.denki-konro.jp/>

（参考）

消費者庁では、2014年（平成26年）6月11日に「お持ちではありませんか？リコールが行われている台所用機器」として、リコールが行われている電気こんろ、電子レンジ、電気冷蔵庫、食器洗い乾燥機、IH調理器、電気ケトルで火災等が発生した14製品について、リコール対象機種・型式を提示し、発煙・発火のおそれがあるとして注意を呼び掛けています。

ウェブサイト：https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_safety/release/pdf/140611kouhyou_1.pdf

火災事故防止に向けて 改修のお願い

1977年から2004年までに製造したキッチンユニット等でご使用の電気こんろを探しています

身体や物が接触し、意図せずスイッチが「入」となる可能性がある構造であったために、電気こんろの上や周囲に可燃物が置かれていて、火災事故に至る危険性があります。



一口こんろ(前面操作) ※写真は富士工業製



一口こんろ(上面操作)
ブランド表示はHITACHIまたは、SUNWAVE



複数口こんろ(前面操作のみ)

対象製品 スイッチ部外観例



つまみが飛び出している電気こんろが対象です。

改修済み製品 スイッチ部外観例



周りにガードのあるつまみは改修済みです。引き続きご使用いただけます。

【対象製品】

形式	電気こんろメーカー(現社名)	電気こんろ品番
前面操作一口電気こんろ※1	LIXIL	SBE-101-100V, SBE-101-200V, FHS-31A, FHS-31B
	東芝ライフスタイル (旧東芝電気 東芝コンシューママーケティング株式会社)	BHP-111, BHP-121
	パナソニック アプライアンス社 (旧社名 松下電器産業株式会社)	NK-1101, NK-1102, NK-2101, NK-2102
	日立アプライアンス	HT-1250, HT-1550, HT-1250T
	ハウステック (旧社名 株式会社日立ハウステック)	HK-1102, HK-2102, HT-1250C
上面操作一口電気こんろ※1	富士工業	FH-31A, FH-31B (品番表記がなく、100V, 200Vのみを表示している製品もあります。)
	三菱電機	CR-1201, CR-1201A, CR-1202, CR-1501, CR-1501A, CR-1501B
	LIXIL	HT-1290, HT-1500
複数口電気こんろ※2	LIXIL	HT-1290, HT-1290T, HT-1500
	SBE-2G, SBE-3G, SBE-3T	
	東芝ライフスタイル (旧東芝電気 東芝コンシューママーケティング株式会社)	HP-2000, HP-2000J, HP-2000T, HP-3000, UHP-S36A, UHP-S36AT, BHP-361T, BHP-365, BHP-461, BHP-461N, BHP-461W
	パナソニック アプライアンス社 (旧社名 松下電器産業株式会社)	NK-2220, NK-2251, NK-2252, NK-2308, HNT-2200 (※3), NK-2201, NK-2202, NK-2203, NK-2301, NK-2302, NK-2303, NK-2204, NK-2204CM, NK-2204M, NK-2304, NK-2305, NK-2307
	日立アプライアンス	HT-3000G, HT-3010G, HT-3310, HT-3510, HT-3511A, HT-4510, HT-D3451, HT-D4451, HT-D4451SS
	富士工業	FH-62, FH-621, FH-63, NSH-621, SBA-201, SBA-211, SBA-211A, SBA-301, SBA-311, SBA-311L

※1、小形キッチンユニット(冷蔵庫付きタイプ・扉仕様タイプ等)もあります。※2、据置型・ビルトイン型があります ※3、ブランド名はHEC

上記電気こんろは、下記協議会加盟キッチンユニットメーカー他のキッチンまたはキッチンテーブル等に組み込まれている場合があります。

【小形キッチンユニット用電気こんろ協議会加盟キッチンユニットメーカー】

クリナップ株式会社、三協立山株式会社、タカラスタンダード株式会社、パナソニック株式会社 エコソリューションズ社

【小形キッチンユニット用電気こんろ協議会加盟会社名・お問い合わせ先(五十音順)】

誠に申し訳ありませんが電気こんろのスイッチを無償で改修いたしますので、下記フリーダイヤルへご連絡ください。

クリナップ株式会社
0120-126-174 <http://cleanup.jp/>

東芝ライフスタイル株式会社
0120-668-401 <https://www.toshiba-lifestyle.co.jp/>

パナソニック株式会社 エコソリューションズ社
0120-116-484 <http://panasonic.co.jp/es/>

三菱電機株式会社
0120-099-506 <https://www.mitsubishielectric.co.jp/>

三協立山株式会社
0120-202-436 (旧社名 三協立山(アルミ)株式会社) <http://www.st-grp.co.jp/>

株式会社ハウステック
0120-524-852 (旧社名 株式会社日立ハウステック) <http://www.housetec.co.jp/200707/kitchen.html>

日立アプライアンス株式会社
0120-256-557 <http://www.hitachi-ap.co.jp/>

株式会社 LIXIL
0120-190-530 (旧製造会社 サンエーブ工業株式会社) <https://www.lixil.co.jp/>

タカラスタンダード株式会社
0120-200-805 <http://www.takara-standard.co.jp/>

パナソニック株式会社 アプライアンス社
0120-391-391 (旧社名 松下電器産業株式会社) <https://panasonic.co.jp/ap/index.htm>

富士工業株式会社
0120-500-621 <http://www.fjie.co.jp/>

フリーダイヤル受付時間 9:00~17:00 (土、日、祝日を除く)

お客様からご提供いただきました氏名・住所・電話番号などの個人情報は、当該製品の点検と改修目的以外には使用いたしません。

小形キッチンユニット用電気こんろ協議会 0120-355-915 メールアドレス dkk.jimu@denki-konro.jp

<http://www.denki-konro.jp/>



(3) ブリヂストンサイクル株式会社が製造した電動アシスト自転車について
(管理番号：A201900317)

①事象について

ブリヂストンサイクル株式会社（法人番号：9030001041957）が製造した電動アシスト自転車で走行中、ハンドルがロックし、転倒、負傷する事故が発生しました。

当該事故の原因は、現在、調査中ですが、「一発二錠」（※）を搭載した自転車及び電動アシスト自転車で、ハンドルロックのケースの破損などが原因で錠が誤作動し、走行時にハンドル操作ができなくなるおそれがあります。

（※）「一発二錠」とは、ハンドルロック（前錠）と後輪錠（サークロック）を組み合わせた錠前システムで、後輪錠（サークロック）の施錠・開錠と連動してハンドルロック（前錠）も施錠・開錠します。

②再発防止策について

同社は、当該製品を含む対象製品（下記③）について、事故の再発防止を図るため、2019年（令和元年）6月24日にプレスリリース、ウェブサイトへの情報掲載、翌25日に新聞社告を行い、対象製品について、無償点検及び改修を実施しています。

また、消費者庁及び経済産業省では、ハンドルロック「一発二錠」を搭載した自転車及び電動アシスト自転車において、ハンドルロックケースの破損などが原因で誤作動し、ハンドル操作ができなくなり転倒するなどの事故が発生していることから、注意を喚起しています。

○消費者庁（令和元年6月24日）

ハンドルロック「一発二錠」のケースが破損していたら すぐに自転車の使用を中止してください！

※消費者安全法第38条第1項の規定に基づく公表

ウェブサイト：

https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_safety/release/2019/pdf/consumer_safety_release_190624_0001.pdf

○経済産業省（令和元年6月24日）

ハンドルロック「一発二錠」のケースが破損していたら すぐに自転車の使用を中止してください！

ウェブサイト：

<https://www.meti.go.jp/press/2019/06/20190624005/20190624005.html>

③対象製品：商品名、機種、型番、製造番号、製造期間、対象台数

商品名	機種、型番、製造番号	製造期間	対象台数
ハンドルロック「一発二錠」を搭載した自転車・電動アシスト自転車（販売：ブリヂストンサイクル株式会社）	https://www.bscycle.co.jp/pdf/important_20190624.pdf	2003年9月 ～ 2015年5月	3, 164, 913
ハンドルロック「一発二錠」を搭載した電動アシスト自転車（販売：ヤマハ発動機株式会社）	https://www.yamaha-motor.co.jp/recall/pas/2019-06-24/pdf/2019-06-24_list.pdf	2004年10月 ～ 2015年1月	266, 275
合 計			3, 431, 188

2019年（令和元年）6月24日からリコール（無償点検・改修）を実施

<リコール対象製品での事故件数>

当該事故（管理番号：A201900317）発生以前の、対象製品におけるリコール対象の内容による2010年度以降の事故（原因調査中を含む。）の件数は、次のとおりです。これらは、消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づき報告を受けたものです。

年度	事故件数	被害状況	年度	事故件数	被害状況
2019年度	8	重傷	2014年度	0	—
2018年度	1	重傷	2013年度	0	—
2017年度	2	重傷	2012年度	0	—
2016年度	0	—	2011年度	0	—
2015年度	0	—	2010年度	0	—

<対象製品の外観及び確認方法>

ハンドルロック（一発二錠）の表示窓のラベルの色を御確認ください。

表示窓のラベルが「黒色ラベル」は対象製品となり、「白色ラベル」は対象外製品となります。



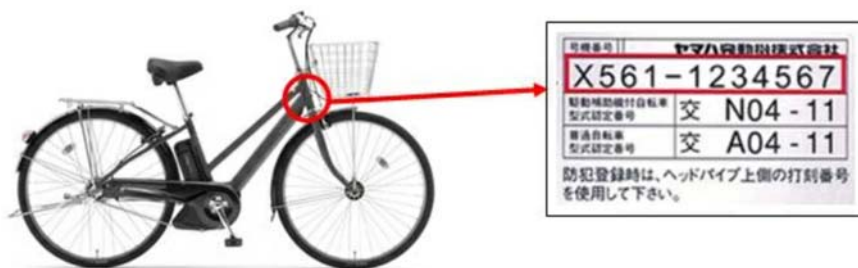
<車両情報の確認方法>

お問い合わせいただく際に必要となりますので、事前に御確認ください。

○ブリヂストンサイクルブランドの場合



○ヤマハ発動機ブランドの場合



④使用者への注意喚起

対象製品をお持ちの方で、ハンドルロックのケースが破損しているなど、異常が確認された場合は、直ちに使用を中止してください。なお、事業者は無償点検及び改修を実施していますので、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

【問合せ先】

ブリヂストンサイクル株式会社

「一発二錠」無償点検・改修お客様コールセンター

電話番号：0120(502)092

受付時間：9時～18時（毎日）

ウェブサイト：<https://www.bscycle.co.jp/info/2019/6624>

ヤマハ発動機株式会社

「一発二錠」無償点検・改修お客様コールセンター

電話番号：0120(801)309

受付時間：9時～18時（毎日）

ウェブサイト：<https://www.yamaha-motor.co.jp/recall/pas/2019-06-24/>

(4)三菱重工業株式会社（現 三菱重工サーマルシステムズ株式会社）が輸入したエアコンについて（管理番号：A201900319）

①事件事象について

工場の休憩室で、三菱重工業株式会社（現 三菱重工サーマルシステムズ株式会社（法人番号：4010401123213））が輸入したエアコン及び周辺を焼損する火災が発生しました。当該事故の原因は、現在、調査中です。

②当該製品のリコール（無償点検・改修）について

同社は、当該製品を含む対象製品（下記③）について、当該製品の一部で、特定条件に当てはまる場合、室内送風用ファンモーターのリード線接続部から発火に至るおそれがあることから、事故の再発防止を図るため、2018年（平成30年）1月11日にウェブサイトへ情報掲載（2018年5月30日改訂）を行うとともに、同月13日に新聞社告を行い、対象製品について無償点検及び改修を実施しています。

なお、今般報告のあった当該事故（管理番号：A201900319）が上記のリコール事象によるものかどうかは現時点では不明です。

③対象製品：製品名、形式、対象台数

○製品名：エアコン

エアコンの一部の機種のうち、1999年10月から2007年までに輸入されたもの。

○形式：事業者ウェブサイトにて御確認ください。

<http://www.mhi-mth.co.jp/information/pdf/180115.pdf>

○対象台数：約93万台

【リコール実施状況】

2018年（平成30年）1月11日からリコール（無償点検・改修）を実施

改修率：7.7%（2019年6月30日時点）

<リコール対象製品での事故件数>

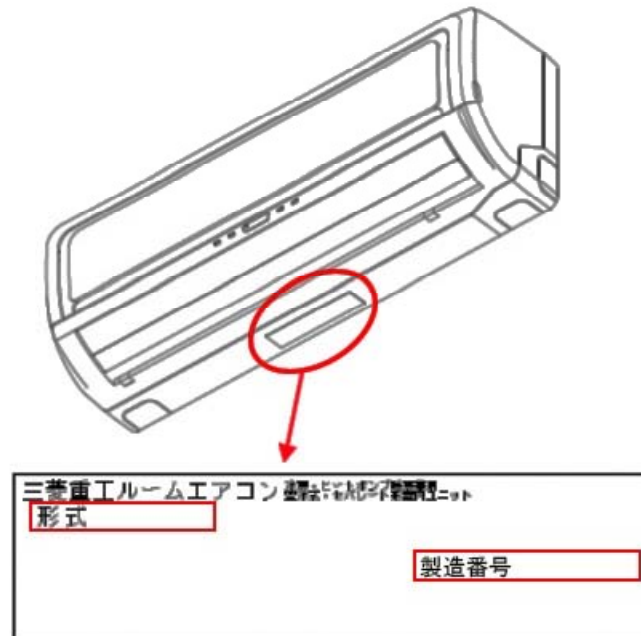
当該事故（管理番号：A201900319）発生以前の、対象製品におけるリコール対象の内容による2010年度以降の事故（原因調査中を含む。）の件数は、次のとおりです。これらは、消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づき報告を受けたものです。

年度	事故件数	被害状況	年度	事故件数	被害状況
2019年度	2	火災	2014年度	1	火災
2018年度	3	火災	2013年度	0	—
2017年度	1	火災	2012年度	0	—
2016年度	4	火災	2011年度	0	—
2015年度	1	火災	2010年度	0	—

<対象製品の確認方法>

対象製品の「形式」及び「製造番号」は、本体下部に貼付されている銘板を御確認ください。また、対象製品であるかどうか、事業者ウェブサイトにて御確認いただくか、下記問合せ先まで御連絡ください。

ウェブサイト：http://www.mhi-mth.co.jp/information/180115_001.html



④使用者への注意喚起

対象製品をお持ちで、まだ事業者の行う無償点検及び改修を受けていない方は、直ちに使用を中止し、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

【問合せ先】

三菱重工冷暖株式会社（国内総販売店） 点検受付専用窓口

電話番号：0120（224）570

受付時間：9時～18時（月～金）

9時～17時（土・日・祝日）

ウェブサイト：http://www.mhi-mth.co.jp/information/180115_001.html

(5)ブリヂストンサイクル株式会社が製造した電動アシスト自転車について
(管理番号：A201900322)

①事故事象について

ブリヂストンサイクル株式会社（法人番号：9030001041957）が製造した電動アシスト自転車に乗車中、当該製品が突然動き出し、ブレーキが効かず、壁に衝突、転倒し、負傷した。当該事故の原因は、現在、調査中です。

②当該製品のリコール（無償点検・無償部品交換）について

同社は、当該製品を含む対象製品（下記③）について、搭載された電動部品の内部の摩耗又は部品取付けはんだに亀裂が入る不良により、ペダルの踏み力が誤って検知され、人がペダルを踏んでいないにもかかわらず、モーターの駆動力が数秒間継続するため、事故に至るおそれがあることから、事故の再発防止を図るため、2007年（平成19年）5月15日にウェブサイト情報を掲載し、翌16日に新聞社告の掲載を行うとともに、同社及び販売店からダイレクトメールの送付、使用者への電話連絡、バッテリー交換時における改修の案内、販売店店頭掲示用ポスターを配布し、注意喚起を行い、対象製品について、無償点検・無償部品交換を実施しています。

また、当該電動部品を搭載し、別ブランドで販売しているヤマハ発動機株式会社及び宮田工業株式会社からも無償点検・無償部品交換についてお知らせを実施しています。

なお、今般報告のあった当該事故（管理番号：A201900322）が上記のリコール事象によるものかどうかは現時点では不明です。

③対象製品：型式、製造期間、対象台数等
(ブリヂストンサイクル株式会社)

型式	製造ロット（下5桁）	製造期間	対象台数
A12	10101～30228	2001年1月 ～ 2003年2月	20,375
A13			44,809
A14			600
A15			6,775
A16			5,175
A17			1,825
合 計			79,559

(ヤマハ発動機株式会社)

型式	製造期間	対象台数
X 101	2001年 1 月 ～ 2003年 2 月	58, 422
X 102		21, 740
X 121		5, 020
X 131		6, 480
X 132		3, 970
X 151		23, 971
X 152		9, 079
X 171		300
合 計		128, 982

(宮田工業株式会社)

型式	製造期間	対象台数
VU402C、VU422C、VAU202C、 VAU422D、VU602C、VU622C、 VAU402C、VAU622D、VU402D、 VU422D、VAU602C、VAU4021C、 VU602D、VU622D、VAU202D、 VAU6021C、VU4021C、VU4021N、 VAU402D、VAF602C、VU6021C、 VU6021N、VAU602D、VAF602D、 VU4021D、VSU403F、VAU422C、 VAF6021C、VU6021D、VSU603F、 VAU622C、VAU402N、VAU602N	2001年 1 月 ～ 2002年12月	12, 817

改修対象台数（3社合計）221, 358台

2007年（平成19年）5月15日からリコール（無償点検・無償部品交換）を実施

改修率：59.5%（2019年3月31日時点）

<リコール対象製品での事故件数>

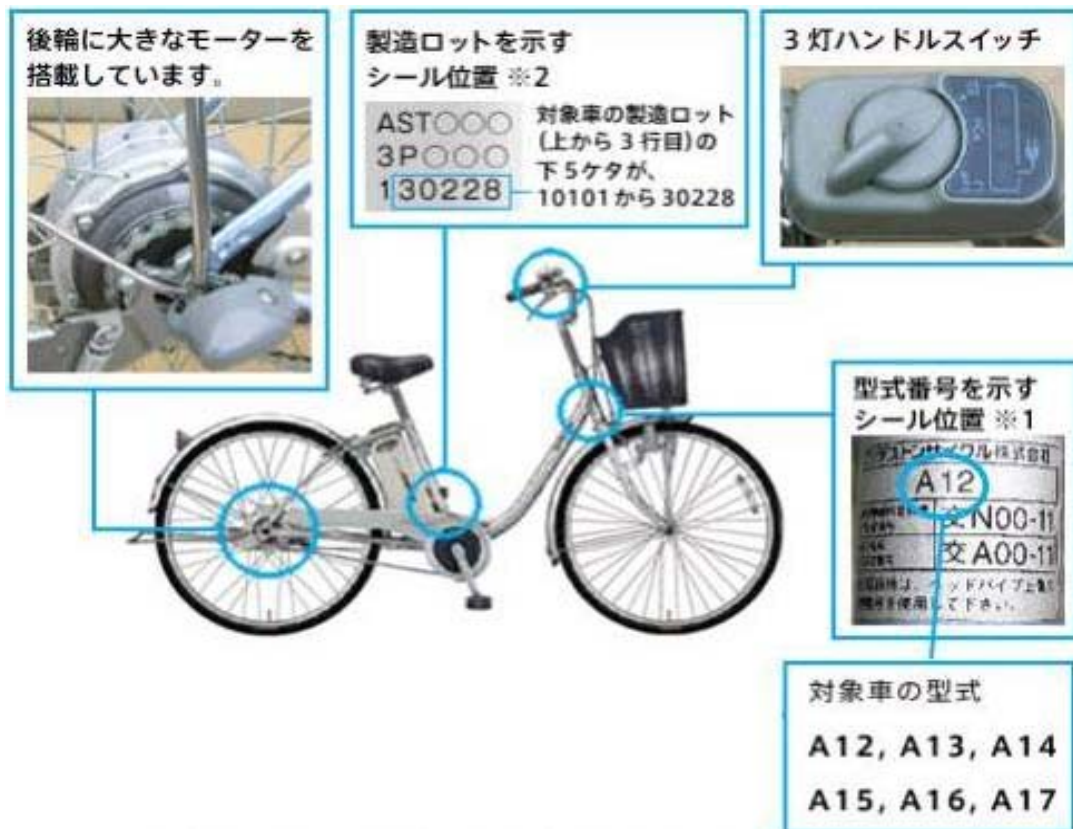
当該事故（管理番号：A201900322）発生以前の、対象製品におけるリコール対象の内容による2010年度以降の事故の件数は、次のとおりです。これらは、消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づき報告を受けたものです。

年度	事故件数	被害状況	年度	事故件数	被害状況
2019年度	0	—	2014年度	0	—
2018年度	0	—	2013年度	0	—
2017年度	0	—	2012年度	0	—
2016年度	0	—	2011年度	1	重傷
2015年度	0	—	2010年度	2	重傷

<対象製品の確認方法>

(ブリヂストンサイクル株式会社)

対象製品の特徴：手元スイッチは、ハンドルスイッチの赤いランプが3灯式になっています。(4灯スイッチのモデルは対象外です。)



<2001年～2003年2月までに製造された電動ハイブリッド自転車です。>

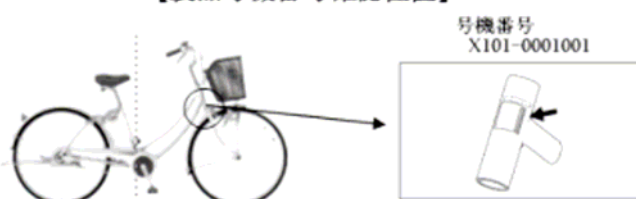
(ヤマハ発動機株式会社)

ヤマハ発動機(株) 対象製品外観等

【ヤマハPASスマイル シリーズ外観】



【製品号機番号確認位置】

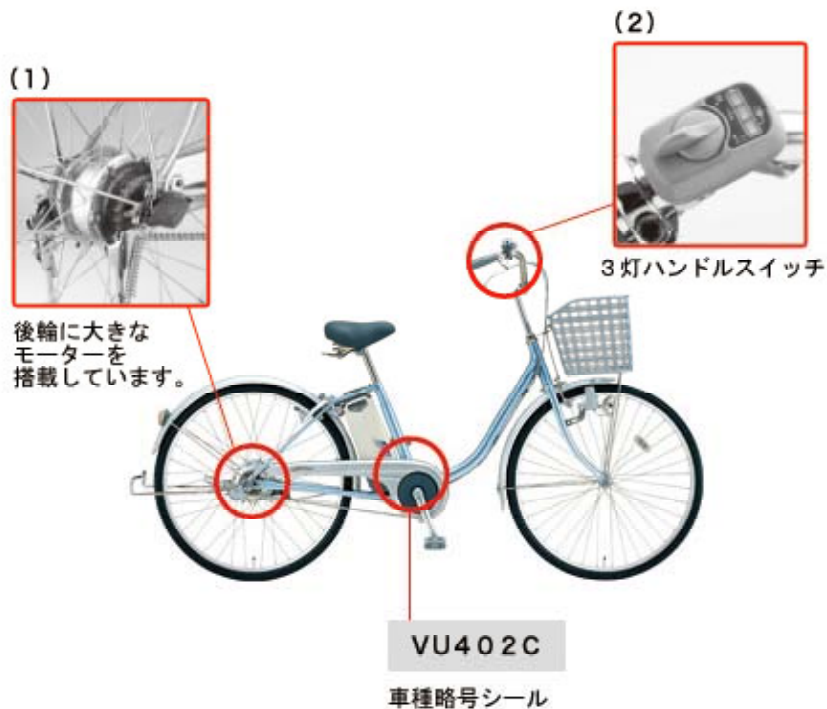


(宮田工業株式会社)

フレーム立パイプ下側に貼付してあるシールにて車種略号を上記表にて御確認ください。

対象製品の特徴：

- (1) 後輪モーター型ドライブユニット。後輪に大きなモーターを搭載しています。
- (2) 手元スイッチ。ハンドルスイッチの赤いランプが3灯式になっています。(4灯式スイッチのモデルは対象外です。)



④消費者への注意喚起

対象製品をお持ちで、まだ事業者の行う無償点検・無償部品交換を受けていない方は、直ちに使用を中止し、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

【問合せ先】

ブリヂストンサイクル株式会社

電話番号：0120 (937) 851

受付時間：9時～17時 (土・日・祝日・事業者指定の休業日を除く。)

ウェブサイト：<https://www.bscycle.co.jp/info/2007/214>

ヤマハ発動機株式会社

電話番号：0120 (090) 819

受付時間：9時～12時、13時～17時

(土・日・祝日・事業者指定の休業日を除く。)

ウェブサイト：

<https://www.yamaha-motor.co.jp/recall/pas/2007-05-15/index.html>

宮田工業株式会社

電話番号：0120 (851) 346

受付時間：9時～17時 (土・日・祝日・事業者指定の休業日を除く。)

ウェブサイト：<http://www.miyatabike.com/topics/070515.html>

【本発表資料の問合せ先】

消費者庁消費者安全課（製品事故情報担当）

担 当：鈴木、柳川、牧野

電 話：03(3507)9204（直通）

F A X：03(3507)9290

経済産業省産業保安グループ製品安全課製品事故対策室

担 当：橋爪、田代、大江

電 話：03(3501)1707（直通）

F A X：03(3501)2805

1. ガス機器・石油機器に関する事故(製品起因か否かが特定できていない事故を含む。)
該当案件なし

2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生日都道府県	備考
A201900310	令和元年7月16日	令和元年7月29日	ノートパソコン	CF-NX1VWJYS	パナソニック株式会社	火災	店舗で当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。 事故の原因は、現在、調査中であるが、ノートパソコンのバッテリーパックの製造上の不具合により、バッテリーセルが異常発熱し、火災に至ったものと考えられる。	大阪府	平成29年12月6日からリコールを実施(特記事項を参照) 回収率:48.3%
A201900311	令和元年7月15日	令和元年7月29日	電気こんろ	HK-1102(株式会社日立ハウステック製ミニキッチン「KM-903D」に組み込まれたもの)(株式会社日立ハウステックブランド)	松下電器産業株式会社(現 パナソニック株式会社)(株式会社日立ハウステックブランド)	火災	当該製品の上に置かれていた可燃物を焼損する火災が発生した。 事故の原因は、現在、調査中であるが、身体等が当該製品のつまみに触れてスイッチが入り、当該製品の上に置かれていた可燃物が燃えたものと考えられる。	愛知県	製造から30年以上経過した製品 令和元年7月25日に消費者安全法の重大事故等として公表済 平成19年7月3日から事業者が共同してリコールを実施(特記事項を参照) 改修率:96.7%(一口電気こんろ合計)
A201900317	令和元年5月7日	令和元年7月29日	電動アシスト自転車	A6D84	ブリヂストンサイクル株式会社	重傷1名	当該製品で走行中、ハンドルがロックし、転倒、負傷した。 事故の原因は、現在、調査中であるが、「一発二錠」を搭載した自転車及び電動アシスト自転車で、ハンドルロックのケースの破損などが原因で錠が誤作動し、走行時にハンドル操作ができなくなったものと考えられる。	東京都	事業者が重大製品事故として認識したのは令和元年7月17日 令和元年6月24日からリコールを実施(特記事項を参照)
A201900319	令和元年7月	令和元年7月30日	エアコン	SRK28V6ZF-W	三菱重工業株式会社(現 三菱重工業サーマルシステムズ株式会社)(輸入事業者)	火災	工場の休憩室で当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	大阪府	製造から10年以上経過した製品 平成30年1月11日からリコールを実施(特記事項を参照) 改修率:7.7%
A201900322	平成19年6月	令和元年7月30日	電動アシスト自転車	AF60	ブリヂストンサイクル株式会社	重傷1名	使用者(70歳代)が当該製品に乗車中、当該製品が突然動き出し、ブレーキが効かず、壁に衝突、転倒し、負傷した。現在、原因を調査中。	大阪府	事業者が重大製品事故として認識したのは平成20年1月17日 報告書の提出期限を超過していることから、事業者に対し厳重注意 平成19年5月15日からリコールを実施(特記事項を参照) 改修率59.5%

3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201900312	令和元年6月30日	令和元年7月29日	タブレット端末	火災	事務所で当該製品を充電中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品に起因するのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	愛知県	事業者が重大製品事故として認識したのは令和元年7月17日
A201900313	令和元年7月19日	令和元年7月29日	温水洗浄便座	火災	当該製品を焼損する火災が発生した。当該製品に起因するのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	東京都	製造から35年以上経過した製品
A201900314	令和元年7月10日	令和元年7月29日	接続箱(太陽光発電システム用)	火災	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品に起因するのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	兵庫県	
A201900315	平成30年12月	令和元年7月29日	自転車	重傷1名	当該製品で走行中、ハンドルを切ったところ、ハンドルがロックし、転倒、顔を負傷した。事故発生時の状況を含め、現在、原因を調査中。	大阪府	事業者が重大製品事故として認識したのは令和元年7月17日
A201900316	平成30年7月24日	令和元年7月29日	電動アシスト自転車	重傷1名	当該製品で走行中、転倒し、頭部を負傷した。事故発生時の状況を含め、現在、原因を調査中。	東京都	事業者が重大製品事故として認識したのは令和元年7月17日
A201900318	令和元年7月14日	令和元年7月29日	電気冷蔵庫	火災	建物2棟を全焼する火災が発生し、現場に当該製品があった。当該製品から出火したのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	愛媛県	製造から35年以上経過した製品
A201900320	令和元年7月12日	令和元年7月30日	IH調理器	火災	当該製品を焼損する火災が発生した。当該製品から出火したのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	岡山県	令和元年8月1日に消費者安全法の重大事故等として公表済
A201900321	令和元年6月27日	令和元年7月30日	ベビーカー	重傷1名	当該製品に幼児(3歳)を乗せて走行中、車輪が縁石に当たり、転倒、負傷した。事故発生時の状況を含め、現在、原因を調査中。	神奈川県	事業者が重大製品事故として認識したのは令和元年7月20日
A201900323	令和元年7月20日	令和元年7月31日	温水洗浄便座	火災	当該製品を焼損し、周辺を汚損する火災が発生した。当該製品に起因するのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	山梨県	
A201900324	令和元年7月20日	令和元年7月31日	水槽用エアープンプ	火災	当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品から出火したのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	愛知県	

3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故(続き)

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201900325	平成29年12月	令和元年7月31日	眼鏡フレーム	重傷1名	当該製品を使用中、先セル(耳当て)の接触部分に皮膚炎を発症した。当該製品との因果関係を含め、現在、原因を調査中。	兵庫県	事業者が重大製品事故として認識したのは令和元年7月29日

4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、消費者庁製品事故情報検討会及び消費経済審議会製品安全部会製品事故判定第三者委員会において審議を予定している案件
該当案件なし